

新庁舎完成

2019.1.4 [金]
オープン



**新年あけまして
おめでとーございませう**

神川町長 山崎正弘

皆様方には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より町政の運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、大阪北部や北海道胆振地方を襲った地震災害、西日本豪雨をはじめとした台風の影響による豪雨災害、また、全国各地での記録的な猛暑など、日本中で自然が猛威を振るった一年でした。

神川町においては、台風24号の風雨に備え、町内2カ所に自主避難所を開設いたしました。幸い大きな被害はありませんでした。

しかし、今後、起こり得る地震・風雨や暑さへの対策、備えの重要性を再認識したところであります。

また、一昨年から建設工事を進めてまいりました役場新庁舎が完成を迎え、1月4日に開庁の運びとなりました。新庁舎においては、防災機能の充実を図り、町民の皆様の生命と財産を守る防災拠点として、また、誰もが利用しやすい行政サービスの拠点として、今後はより一層の住民サービスの向上に努めてまいります。

結びに、平成最後の年であり、また新たな元号での「スタート」となる本年が町民の皆様と町にとって飛躍の年となりますことを心からご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



新庁舎の機能

新庁舎建設にあたっては、防災拠点としての機能をはじめ、情報セキュリティの確保、環境負荷の低減、さらに町民が集い、誰もが利用しやすい庁舎を「基本テーマ」に次の機能の充実を図りました。

- 基本テーマ**
- 防災拠点としての機能**
 - 非常用発電機の設置
 - 防災屋外トイレ配管の設置 (注2)
 - 高い耐震安全性の確保
 - 各種防災関係資器材の確保 など
 - 高度情報化への対応**
 - 情報発信ディスプレイの設置
 - フリーアクセスフロアの導入 (注1)
 - 情報管理の充実 など
 - 環境にやさしい庁舎**
 - 太陽光パネルの設置
 - LED照明の採用
 - 自然環境への配慮 など
 - ユニバーサルデザインの導入**
 - 総合案内窓口の設置
 - 案内表示の充実
 - 多目的トイレの設置
 - エレベーターの設置 など

(注1) 床下に一定の空間を設け、電源や各種ケーブルなどを自立せずに容易に配線ができるようにするものです。
(注2) 災害により水が使えなくなったときに屋外に仮設トイレを設置できるように予め準備し、衛生的なトイレの使用を可能にするものです。

新庁舎オープン

2019年1月4日(金)、新しくなった神川町役場庁舎での業務が開始されます。

旧庁舎は建設から40年以上が経過し、雨漏りや外壁の劣化等の老朽化が顕著になっていました。また建材にアスベストの使用が確認される等多数の問題を抱えていました。

新庁舎建設は2017年7月に着工し、一年半をかけた2018年12月、旧庁舎の南側に完成しました。旧庁舎は解体され2019年10月までに駐車場として整備されます。総工費は約17億円(建設・外構・解体・電気設備・機械設備等)で合併特例債を活用し、町の実質負担額を大幅に軽減しています。

今回の特集記事では、新しくなった庁舎の機能紹介や各課配置、新庁舎が出来るまでの道のりを紹介します。

新庁舎には町民の皆さんが気軽にくつろいでいただけるスペースを設けました。ぜひ、新しくなった庁舎をご利用ください。



2018年1月
コンクリート打設 鉄骨建方



2017年12月
コンクリート流込み



2017年11月
ドローンにて空撮



2017年10月
作業通路設置工事
基礎配筋工事



2017年9月
基礎を作るため地盤を掘削



2017年8月
舗装と樹木の撤去



2017年7月
安全祈願祭

